

製品名: Hsp22 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86983**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:22 kDa; Observed MW:22 kDa

抗原情報

遺伝子名	Hsp22
別名	H11; HMN2; CMT2L; DHMN2; E2IG1; HMN2A; HSP22
遺伝子ID	26353
SwissProt ID	Q9UJY1
免疫原	ヒト Hsp22 の合成ペプチド

背景

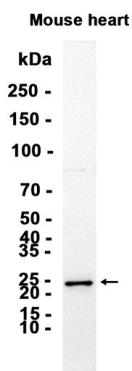
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、分子のC末端に保存的なαクリスタリンドメインを有する小型熱ショックタンパク

質スーパーファミリーに属する。この遺伝子の発現は、エストロゲン受容体陽性乳がん細胞においてエストロゲンによって誘導され、また、マクロオートファジー刺激因子である Bag3 と共存するシャペロンとして機能する。したがって、この遺伝子は細胞増殖、アポトーシス、および発癌の制御に関与していると考えられ、この遺伝子の変異はシャルコー・マリー・トゥース病を含む様々な神経筋疾患と関連付けられている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Hsp22 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス心臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。